取扱説明書

パッケージエアコン

スカイエア

《セパレート形》

床置形

室内ユニット

新冷媒シリーズ(R410A)

FVP50BB　FVP80BB
FVP56BB　FVP112BB
FVP63BB　FVP140BB
FVP71BB　FVP160BB

- このたびは弊社製品をお買上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書には、安全についての注意事項を記載しております。
  正しくお使いいただくために、ご使用前に、必ずお読みください。
  お読みになった後、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
  また、お使いになる方が代わる場合は、必ずこの取扱説明書をお渡しください。
- この取扱説明書は室内ユニット専用ですので、室外ユニット付属の取扱説明書をあわせてご覧ください。
  保証書はお買上げの販売店からお受取りのうえ、大切に保管してください。

上手に使って上手に節電

安全について　必ず守ってください

ご使用の前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください

●ここに示した注意事項は、下記の2種類に分類しています。
　いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いにより、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いにより、傷害を負う可能性または物的損害の可能性があるもの。 状況によっては重大な結果に結び付く可能性もあります。

●本文中に使われる「絵表示」の意味は次のとおりです。

⃠	絶対にしないでください。	!	必ず指示どおりに行ってください。	⏚	必ずアース工事をしてください。
⃠	絶対にぬれた手で触れないでください。	⃠	絶対に水にぬらさないでください。		

⚠警告　使用上の注意事項

●長時間冷(温)風を体に直接当てない、冷やし過ぎ(暖め過ぎ)ない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

●吸込口・吹出口や風向羽根に指や棒などを入れない
ファンが高速で回転しており、けがの原因になります。

禁止

●分解や改造・修理をしない
水もれや感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

禁止

●調理用油や機械油など油成分が浮遊している場所では使用しない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属性のホコリのある場所では使用しない
火災や故障の原因になります。

禁止

●冷媒がもれたら火気厳禁
エアコンに使用されている冷媒は安全で、通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター・ストーブ・コンロなどの火気にふれると有毒ガスが発生する原因になります。
燃焼器具などの火気を消して部屋の換気を行い、お買上げの販売店にご連絡ください。
冷媒もれの修理の場合は、もれ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認のうえ、運転してください。

禁止

●ヒューズ付負荷開閉器を使用の場合、正しい容量のヒューズ以外は使用しない
針金などを使用すると故障や火災の原因になります。

禁止

●可燃性のガス(ヘアスプレーや殺虫剤など)は本体の近くで使用しない
ベンジン・シンナーで本体をふかない
ひび割れ・感電・引火の原因になります。

禁止

●電源ブレーカーによるエアコンの運転や停止をしない
火災や水もれの原因になります。
また、停電補償が有効に設定されている場合、ファンが突然回り、けがの原因になります。

禁止

●異常時(こげ臭いなど)は、運転を停止して電源ブレーカーをしゃ断する
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買上げの販売店にご連絡ください。

●洪水・台風など天災でエアコンが水没したときは、お買上げの販売店に相談する
運転をすると、故障や感電・火災などの原因になります。

●室内・室外ユニット内部の洗浄はお客様自身で行わず、必ずお買上げの販売店に依頼する
誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、樹脂部分が破損したり水もれなどの原因になります。
また、洗浄剤が電気部品や電動機にかかると故障や発煙・発火の原因になります。

⚠注意 使用上の注意事項

●**特しゅ用途には使用しない**
精密機器・食品・美術品などの保存、
動植物の飼育や栽培など、
特しゅ用途に使用すると、
対象物の性能・品質・寿命に悪影響を
およぼすことがあります。

禁止

●**長期使用で傷んだままの据付台などを使用しない**
傷んだ状態で放置するとユニットの
落下につながり、けがなどの原因に
なることがあります。

禁止

●**室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない**
落下・転倒などにより、けがの原因に
なることがあります。

禁止

●**室内・室外ユニットの真下や近くにぬれて困るものは置かない**
運転条件によっては、本体や冷媒配管への
結露・エアフィルターの汚れ・
ドレン出口のつまりで水が滴下し、
家財などをぬらす原因になることがあります。

禁止

●**エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わない**
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることが
あります。

禁止

●**室内ユニットの近くでほかの暖房器具を使わない**
暖房器具の熱により吸込グリルなどが
変形することがあります。

禁止

●**動植物に直接風を当てない**
動植物に悪影響をおよぼす原因に
なることがあります。

禁止

●**吹出口の近くにスプレー缶などを置かない**
室内・室外ユニットからの温風により
スプレー缶などが爆発するおそれがあります。

禁止

●**本体やリモコンで遊ばせない**
誤った操作による体調悪化や健康障害の
原因になることがあります。

禁止

●**室内・室外ユニットの吸込口やアルミフィンにさわらない**
けがの原因になることがあります。

禁止

●**室外ユニットの吹出口を取り外さない**
高速で回転するファンにより、けがの原因に
なることがあります。

禁止

●**吸込口や吹出口をふさがない**
能力低下や故障の原因になることがあります。

禁止

●**コントロールパネルは絶対に分解しない**
内部を手で触れると感電や故障の原因に
なることがあります。
内部の点検調整はお買上げの販売店に
ご依頼ください。

禁止

●**室外ユニットの周辺に、物を置いたり、落ち葉をためない**
落ち葉などから侵入した小動物が、内部の
電気部品に触れると、故障や発煙・発火の
原因になることがあります。

禁止

●**ぬれた手で操作しない**
感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

●**エアコンを水洗いしない**
漏電によって感電や火災の原因になることが
あります。

水ぬれ禁止

●**室内ユニットの上に花びんなど、水の入った容器を置かない**
内部に水が浸入して感電や火災の原因に
なることがあります。

水ぬれ禁止

●**ときどき換気を行う**
換気が不十分な場合は、酸素不足の原因に
なることがあります。
特に燃焼器具と一緒に使用するときは、
ご注意ください。

●**お手入れのときは必ず運転を停止し、電源ブレーカーをしゃ断する**
電源をしゃ断しないと、感電やけがの原因に
なることがあります。

●**長期間使用しないときは、電源ブレーカーをしゃ断する**
ホコリがたまって発熱・発火の原因に
なることがあります。

⚠警告 据付上の注意事項

●据付工事は、自分でしない
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●別売品の取付けは、自分でしない
（交換用別売品は除きます）
別売品は当社指定以外ものは使用しない
取付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店または
コンタクトセンターにご依頼ください。
（裏表紙参照）

●移動・再設置は、自分でしない
据付けに不備があると、
水もれ・感電・火災の原因になります。
お買上げの販売店にご依頼ください。

●アース工事を行う
アースが不完全な場合は、感電や火災の
原因になります。
アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話の
アース線に接続しないでください。

●漏電しゃ断器を取り付ける
取り付けないと感電や火災の原因になります。

●電源は必ずエアコン専用の電源を使用する
専用以外の電源を使用すると
発熱・火災・故障の原因になります。

●冷媒もれ対策は、販売店に相談する
万一、冷媒がもれて限界濃度を
超えると、酸欠事故の原因になります。
小部屋に据え付ける場合は、冷媒が
もれても限界濃度を超えないように
対策する必要があります。

⚠注意 据付上の注意事項

●可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない
万一、ガスがもれてユニットの周囲に溜まると、
発火の原因になることがあります。

●コントロールパネルに水のかかるおそれのある場所には設置しない
水が機器の内部に入ると、感電のおそれがある
ほか、内部の電子部品が故障する原因になる
ことがあります。

●ドレン配管は、確実に排水するように施工する
不備があると、屋内に水もれし、汚れや故障の
原因になることがあります。

据付場所について

●まわりに障害物のない風通しの良いところに設置されていますか？

●次のような場所では使用しないでください。
- 切削油など鉱物油の立ち込めるところ
- 調理場など油の飛沫や蒸気の多いところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 温泉地帯など硫化ガスのあるところ
- 酸・アルカリ性蒸気の立ち込めるところ
- 工場など電圧変動の多いところ
- 車両・船舶への搭載など
- 電磁波を発生する機械のあるところ

●防雪対策されていますか？
防雪フードなど、詳細はお買上げの販売店へご相談ください。

電気工事について

●電気工事・D種接地工事の施工には資格が必要です。
お買上げの販売店に依頼し、ご自分ではなさらないでください。

●エアコン専用の回路をご使用ですか？

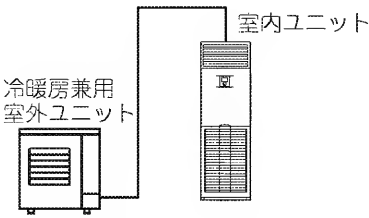
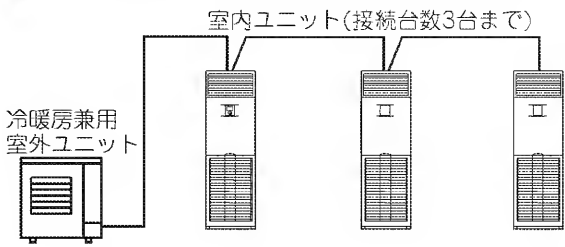
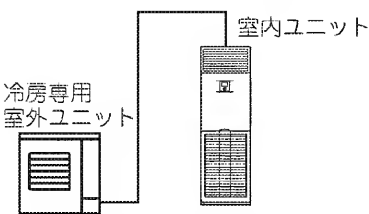
運転音にもご配慮を

●次のような場所を選んでいますか？
- エアコンの重量に十分耐え、運転音や振動が増大しないようなところ
- 室外ユニットの吹出口からの風や運転音が近隣の迷惑にならないようなところ

●室外ユニットの吹出口近くに障害物がありませんか？
機能低下や運転音増大の原因になります。

●使用中に異常音がする場合はお買上げの販売店にご相談ください。

ドレン配管の排水について

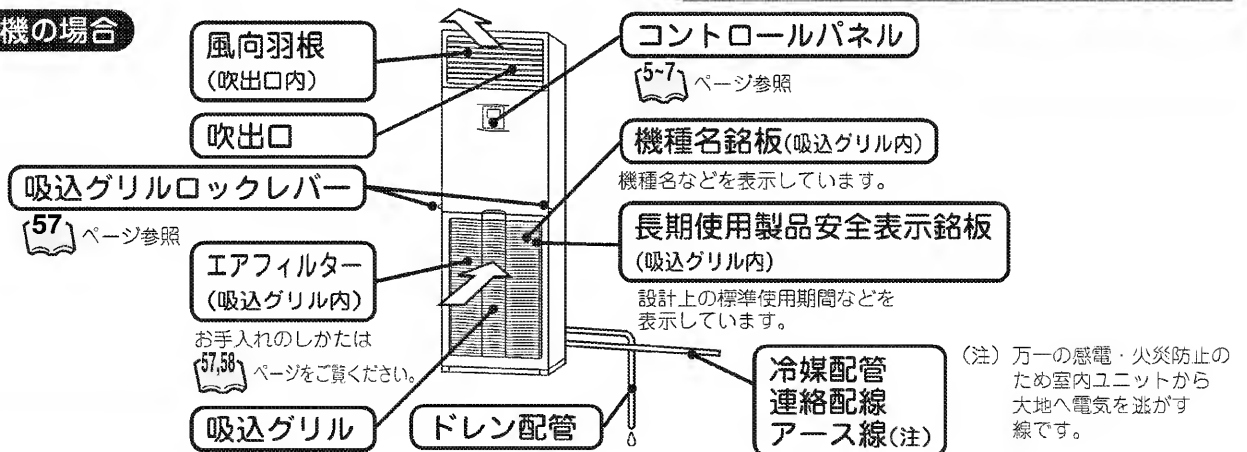
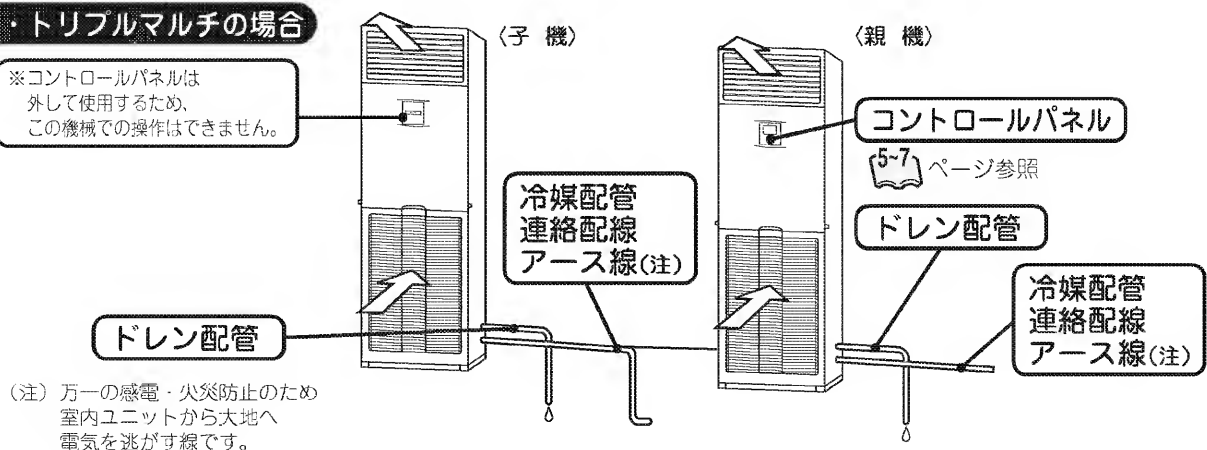
●ドレン配管は確実に排水するよう施工されていますか？
冷房運転時、ドレン配管から排水されていない場合は、
ドレン配管内でゴミ・ホコリなどがつまり、室内ユニット
から水がもれる原因になることがあります。
運転を停止して、お買上げの販売店にご相談ください。

同時運転マルチシステムの説明

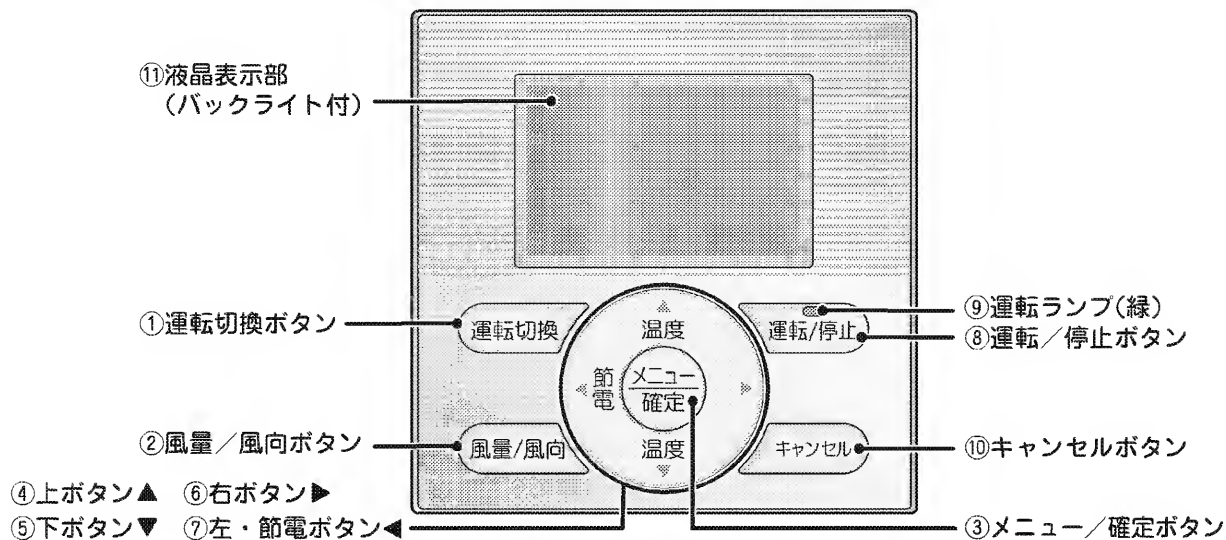
本室内ユニットは、次のいずれかのシステムでご使用ください。詳細はお買上げの販売店に確認してから操作してください。

お願い

●ワイヤレスリモコンをご使用の場合は、ワイヤレスリモコンキットに付属の取扱説明書をご覧ください。

各部の名前と働き

ペア機の場合

ツイン・トリプルマルチの場合

コントロールパネル各部の名前と働き

コントロールパネル(操作部)

運転／停止・運転切換・風量調節・風向調節・温度設定・節電運転以外は、
メニュー画面からの設定となります。

- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。液晶表示部が変色し表示できなくなることがあります。
- 操作部のボタンを先のとがったもので押さないでください。破損し、故障の原因になることがあります。

①運転切換ボタン

- 運転モード(「冷房」・「暖房」・「送風」・「ドライ」・「自動」)を切り換えるときに押します。
  (8,11,15 ページ参照)

②風量／風向ボタン

- 連動するエアコンの風量または風向を切り換えるときに設定画面を表示させます。

③メニュー／確定ボタン

- メインメニューを表示します。
- 設定を確定します。

④上ボタン▲(必ず▲印部を押してください)

- 設定温度を上げます。
- 反転表示を上方向へ移動させます。
  (押しつづけると連続スクロールになります。)
- 選択項目を変更します。

⑤下ボタン▼(必ず▼印部を押してください)

- 設定温度を下げます。
- 反転表示を下方向へ移動させます。
  (押しつづけると連続スクロールになります。)
- 選択項目を変更します。

⑥右ボタン▶(必ず▶印部を押してください)

- 反転表示を右方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で次の画面にスクロールします。

⑦左・節電ボタン◀(必ず◀印部を押してください)

- 1度押すと節電ON状態となり、もう1度押すと節電OFF状態となります。
- 反転表示を左方向へ移動させます。
- 表示内容を画面単位で前の画面にスクロールします。

⑧運転／停止ボタン

- 1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

⑨運転ランプ(緑)

- 運転中、点灯します。
- 異常時には点滅します。

⑩キャンセルボタン

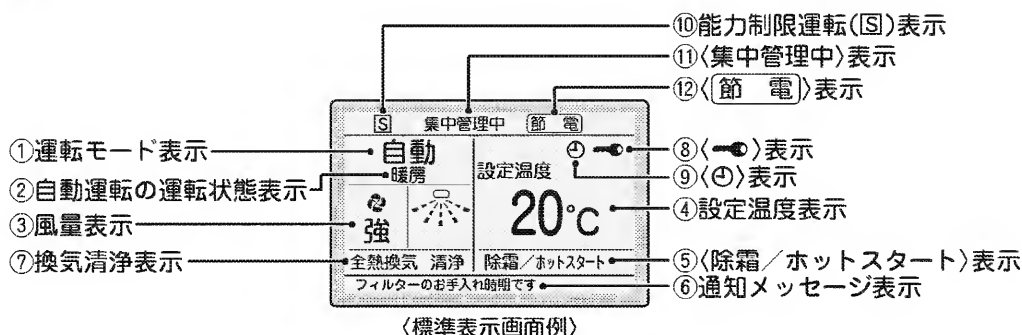
- 前の画面に戻ります。

⑪液晶表示部のバックライトについて

- 操作ボタンのいずれかを押すとバックライトが約30秒間点灯します。
  バックライト点灯中にボタン操作を行ってください。
  (ただし、運転／停止ボタンを除きます。)
- 1つの室内ユニットにコントロールパネルと別置のリモコンが接続されている場合、先にボタン操作したコントロールパネルまたはリモコンのみバックライトが点灯します。
  (ボタン操作については、バックライトが消灯しているコントロールパネルまたはリモコンでも有効です。)

液晶画面表示について

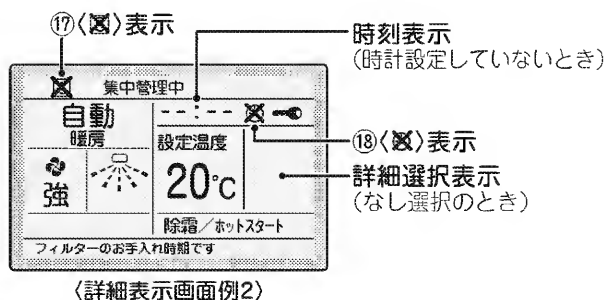
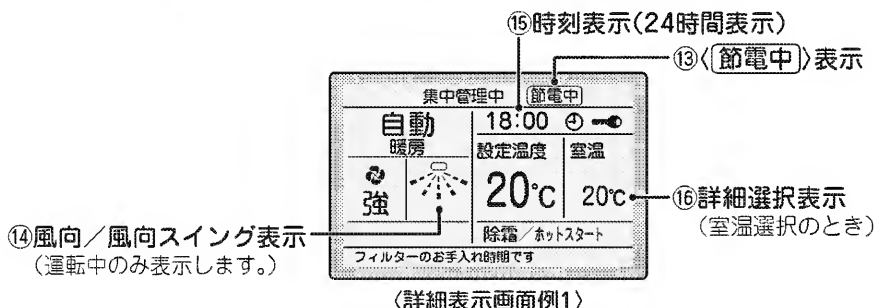
●基本画面の表示には、標準と詳細の2種類があります。
初期設定は標準表示になっています。
●詳細画面への切換えはメインメニューの表示切換で変更します。（49,50 ページ参照）
●運動する機器の運転モードにより、画面表示内容は異なります。
（下の画面は、エアコンが自動暖房運転しているときの表示です。）

標準表示画面

〈標準表示画面例〉

詳細表示画面

■詳細表示画面には、標準表示画面に時刻・詳細選択表示が追加されます。

〈詳細表示画面例1〉

〈詳細表示画面例2〉

①運転モード表示
●運転状態(「冷房」・「暖房」・「換気」・「送風」・「ドライ」・「自動」)を表示します。

②自動運転の運転状態表示
●運転状態(「冷房」または「暖房」)を表示します。

③風量表示
●設定した風量を表示します。

④設定温度表示
●設定温度を表示します。

⑤『除霜／ホットスタート』表示
『除霜／ホットスタート』の表示
●エアコンが「除霜／ホットスタート」の間に、表示します。
(10 ページ参照)

⑥通知メッセージ表示
下記メッセージが表示されます。

『本機能はありません』
●操作ボタンを押したとき、その機能が室内ユニットにないときに限り数秒間表示します。
●複数台同時運転の場合、すべての室内ユニットにその機能がないときに限り表示します。
1台でもその機能があれば表示しません。

『異常：メニューボタンを押してください』
『警報：メニューボタンを押してください』
●異常または警報を検知した場合に表示します。
(63 ページ参照)

『快速冷暖』
●快速冷暖ON設定時に表示します。
(20 ページ参照)

『フィルターのお手入れ時期です』
『エレメントのお手入れ時期です』
『フィルター・エレメントのお手入れ時期です』
●フィルターまたはエレメントのお手入れ時期になると表示します。(57 ページ参照)

⑦換気清浄表示
●全熱交換器ユニット「ベンティエール」などとの接続時に表示します。

⑧ 表示(15 ページ参照)
●キーロック設定時に表示します。

⑨ 表示(36 ページ参照)
●入切タイマー・スケジュールタイマー・消し忘れ防止タイマーのいずれかの設定が有効のときに表示します。

⑩能力制限運転(S)表示
●静音モードで運転しているときに表示します。
静音モード(47 ページ参照)

⑪『集中管理中』表示
●集中制御機器(別売品)で管理され、リモコンからの操作が禁止されているときに表示します。

⑫節　電表示(14 ページ参照)
●節電設定が有効のときに表示します。

⑬節電中表示(14 ページ参照)
●節電モードで運転しているときに表示します。

⑭風向／風向スイング表示
●設定した風向／風向スイングを表示します。
(12 ページ参照)

⑮時刻表示(24時間表示)
●時計設定された場合、表示します。
(53 ページ参照)
●時計設定がされていない場合は『--：--』と表示します。

⑯詳細選択表示
●表示切換で設定した詳細選択表示項目を表示します。
(50 ページ参照)
●初期設定は詳細選択表示「なし」の設定です。

⑰ 表示
●時計設定の再設定が必要であることをお知らせしています。
●再設定しないとデマンド・静音モード機能が働きません。

⑱ 表示
●時計設定の再設定が必要であることをお知らせしています。
●再設定しないとスケジュールタイマー機能が働きません。

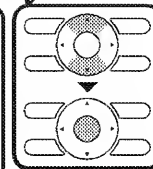
冷房・暖房・送風・自動運転のしかた

操作手順
コントロールパネルのボタン操作のしかたを記載しています。
手順にそって操作してください。

操作ボタン表示
操作するボタンの位置を記載しています。

操作方法

1

●メインメニュー画面を表示させます。
（18 ページ参照）
●メインメニュー画面で「▼▲」ボタンを押して タイマー設定 を選択します。
「メニュー／確定」ボタンを押すと、タイマー設定画面が表示されます。
※現在の有効／無効が表示されています。

操作中の画面表示
操作中に表示される画面を記載しています。

準　備

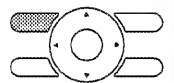
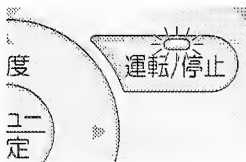
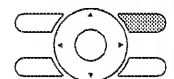
●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
●シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

操作方法

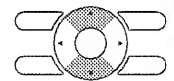
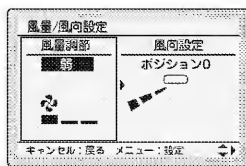
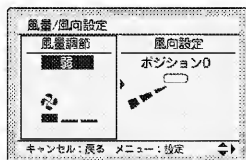
1

●「運転切換」ボタンを数回押し、「冷房」・「暖房」・「送風」・「ドライ」・「自動」のうち、ご希望の運転に切り換えます。
（「ドライ」については 11 ページをご覧ください。）

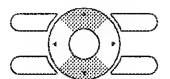
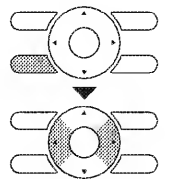
※設定できない運転モードは表示されません。
※冷房専用タイプの場合は「冷房」と「送風」と「ドライ」のみ設定可能です。

2

●「運転／停止」ボタンを押します。
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

3

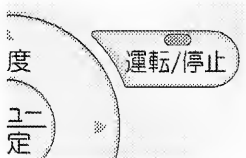
●設定温度は「▲」ボタンを押すごとに1℃ずつ上がり、「▼」ボタンを押すごとに1℃ずつ下がります。
※**設定可能範囲**は冷房20～35℃、暖房15～30℃です。
（運転使用条件については 9 ページをご覧ください。）

※送風運転・ドライ運転の場合は設定できません。

4

(風量調節選択時)

風量の調節方法

●「風量／風向」ボタンを押して風量／風向設定画面を表示します。
「◀▶」ボタンで風量調節を選択します。
(□枠が左右に切り換わります。)

●「▼▲」ボタンを押して **自動** **急** **強** **弱** のうちご希望の風量に切り換えます。
※**自動**は設定温度と室温により風量を自動で調節します。
　ただし、送風運転時は**強**と同じ風量になります。
※機械保護のため、風量を自動でコントロールすることがあります。
※室温に応じて、風量を自動で変更することがあります。
　またファンが停止することがありますが、異常ではありません。
　風量を自動でコントロールされる場合や、ファンが自動で停止する場合は風量調節ができません。
※風量の切換完了まで数秒かかる場合がありますが、異常ではありません。

5

●風向設定は 12,13 ページをご覧ください。

6

●もう1度「運転／停止」ボタンを押すと、運転ランプが消灯し、運転を停止します。
※暖房運転の場合、停止後に室内ユニット内の熱を取り去るため、約1分間は送風運転をします。

お願い

●**運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。**
残留運転を行う場合があります。必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

運転使用条件(吸込空気条件)

運転モード	タイプ		温度調節範囲(設定温度)※	使用条件(室内ユニット吸込空気) 温度	湿度
冷房	冷暖房兼用 冷房専用		20～35℃	21～32℃	80%以下
暖房	冷暖房兼用		15～30℃	15～27℃	——
自動	冷暖房兼用	冷房	20～35℃	21～32℃	80%以下
		暖房	15～30℃	15～27℃	——

連続運転をされる場合は、左表の使用条件内でご使用ください。
左記の使用条件外で連続運転されると、水もれの原因になったり機械保護のために停止することがあります。

※マイコンドライ・送風は設定温度の変更はできません。

運転の内容と働き

冷房 おすすめ設定温度は、26~28℃です。 | **暖房** おすすめ設定温度は、18~23℃です。 | **送風** 室内の空気を循環させます。

自動(冷暖自動)

- 運転中、ある室内温度を境に自動で
  冷房運転 ◄─► 暖房運転が切り換わります。
- **設定温度は変更できますが、運転内容が切り換わると自動で設定温度も変更します。**
  (室温を一定に保つ運転ではありません。)

「自動冷房」→「自動暖房」時は5℃設定温度が下がります。
「自動暖房」→「自動冷房」時は5℃設定温度が上がります。

- 「自動」運転にすると設定温度に対して体感温度の補正を行うので、年間を通じて快適さを保ちながらさらに省エネ運転ができます。

例 「自動冷房」で27℃にセットされた状態から運転し、室内温度が下がり25℃以下になると「自動暖房」に切り換わります。(②→①になったとき)
①の状態で、さらに室内温度が下がり22℃以下になったところで暖房運転が始まります。(設定温度22℃)
暖房→冷房のときも同様になります。(①→②)

状態	①		②
室内温度	~ 25℃ ~		
設定温度	22℃		27℃
運転状態	暖房	送風	冷房
コントロールパネル表示	自動暖房		自動冷房

冷房運転の特性(冷房・自動冷房運転)

- 室内温度が低い状態で冷房運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着き冷房能力が低下することがあります。その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。
  除霜運転中に溶けた水が飛ぶのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。
  (コントロールパネルには設定した風量が表示されます。)
- 外気温度が高い場合、設定温度になるまで時間がかかります。

暖房運転の特性(暖房・自動暖房運転)

運転開始について

- 一般的に暖房運転の場合、冷房運転と比べ設定温度になるまで時間がかかります。
  タイマー運転を活用した事前の運転開始をおすすめします。

暖房能力の低下や冷風が吹き出すのを防ぐために次の運転を行います。

運転開始時および除霜運転終了後

- お部屋全体を暖める温風循環方式なので、運転を開始してから温まるまで、しばらく時間がかかります。
  エアコン内部の温度がある程度高くなるまでは、室内ファンは自動で微風運転になります。
  そのときコントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
  (コントロールパネルには設定した風量が表示されます。)

除霜運転(室外ユニットの霜取り運転)

- 室外ユニットに霜が付くと暖房能力が低下するため除霜運転に自動で切り換わります。
- 温風が止まり、コントロールパネルに「除霜/ホットスタート」が表示されます。
  ワイヤレスリモコンの場合は、温風が止まり、受光ユニット表示部の除霜ランプが点灯します。
  (コントロールパネルには設定した風量が表示されます。)
- 約6~8分(最長10分)で、元の運転に戻ります。
- 除霜運転中や除霜運転終了後、暖房運転に切り換わったとき、室外ユニットの吹出口から白い霧が出ます。
  (61 ページ参照)
- 特殊な運転のため、「チュルチュル」「シュー」音などがするときがあります。(61 ページ参照)

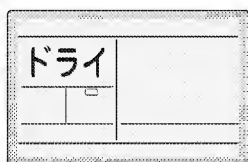
外気温度と暖房能力について

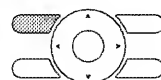
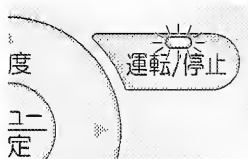
- 外気温度が下がるにつれて暖房能力が低下します。
  このような場合はほかの暖房器具と併用してお使いください。
  (燃焼器具と併用の場合は、こまめな換気が必要です。)
  エアコンの風が直接当たるところで燃焼器具を使わないでください。
- 温風が天井にこもり、足下が寒いときは、サーキュレータ(室内循環用ファン)のご使用をおすすめします。詳しくはお買上げの販売店にご相談ください。
- 室内温度が設定温度以上になった場合、室外ユニットは停止し、室内ユニットは微風運転になります。
  (コントロールパネルには風量は設定した風量が表示されます。)

マイコンドライ運転のしかた

準　備
●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
●シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

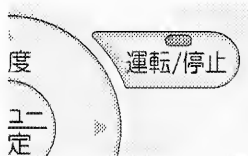
操作方法

1

●「運転切換」ボタンを数回押し、「ドライ」に切り換えます。

2

●「運転／停止」ボタンを押します。
運転ランプ(緑)が点灯し、運転を開始します。

※湿度と風量はマイコンが自動でコントロールするので、
運転中はコントロールパネルでの設定はできません。
※室温が20℃以下のときはマイコンドライ運転できません。
※湿度の設定はできません。

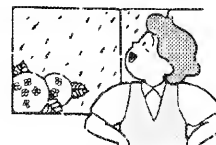
3

●風向設定は 12,13 ページをご覧ください。

4

●もう1度「運転／停止」ボタンを押すと、運転ランプが
消灯し、運転を停止します。

お願い
●運転停止後、すぐに電源をしゃ断しないでください。
残留運転を行う場合があります。必ず5分以上待ってください。
水もれや故障の原因になることがあります。

運転の内容と働き

マイコンドライ運転
●冷え過ぎを防止するために室温をできるだけ下げないよう、弱めの冷房運転と
停止を繰り返し、湿度と風量を自動でコントロールすることで湿気を取る機能です。

マイコンドライ運転について

●室内温度を下げずに湿度を下げる運転を行うため、運転ボタンを押したときの室内温度が設定温度になります。
そのとき風量・湿度を自動で設定するため、コントロールパネルには風量・設定湿度の表示はされません。
室内温度と湿度を下げたいときは、冷房運転で室内温度を下げてからマイコンドライ運転をしてください。
室内温度が下がった場合、エアコンの風が止まる場合があります。
●室内温度が低い状態でマイコンドライ運転をした場合、室内ユニット熱交換器に霜が着く場合があります。
その場合、しばらくの間、除霜運転を自動で行います。
湿度が上がるのを防ぐため、自動でコントロールされた風量(風量「弱」または微風)での運転になります。

お願い
●冷えすぎる場合は、1度冷房運転に切り換えてから運転を停止し、適温になってから再度マイコンドライ運転を
してください。
(注) 室温が20℃以下の場合、マイコンドライ運転はできません。

風向設定のしかた

■左右の調節のしかた

操作方法

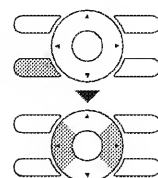
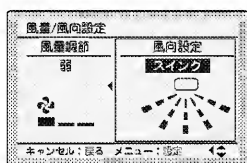
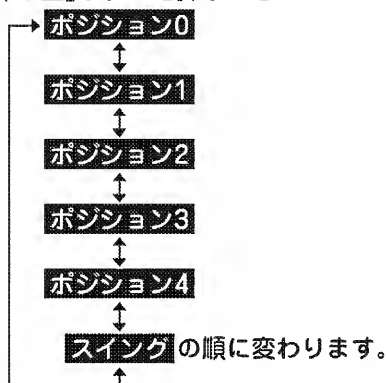
1

（風向調節選択時）

●「風量／風向」ボタンを押して風量／風向設定画面を表示させます。
「◀▶」ボタンで風向設定を選択します。
（□枠が左右に切り換わります。）

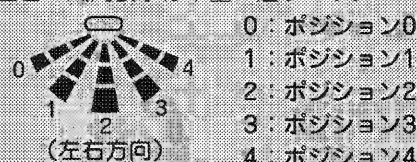
2

●「▼▲」ボタンを押すごとに

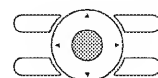
の順に変わります。

●ご希望の風向を設定します。

お知らせ

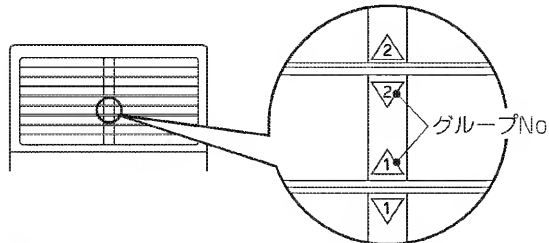
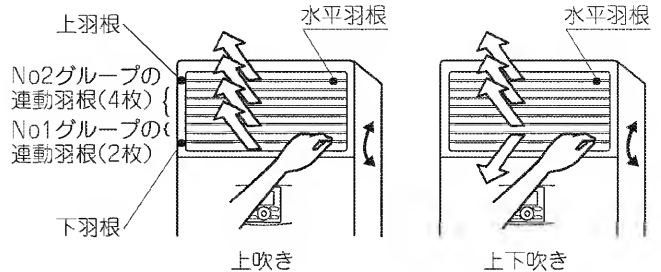
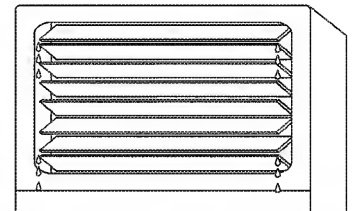
●画面の風向表示は下記の通りです。

0：ポジション0
1：ポジション1
2：ポジション2
3：ポジション3
4：ポジション4

※スイングは風向羽根をポジション0からポジション4の範囲で往復動作します。
※風向を固定する場合は5段階（ポジション0〜4）のうちでご希望の位置を選択します。
※節電対応シリーズで運転時にスマート学習節電モードをONにした場合、工場出荷時は、冷房運転時「スイング」、暖房運転時「ポジション0」になります。
これら以外の風向で使用されたい場合は、上記の設定でご希望の風向に変更可能です。

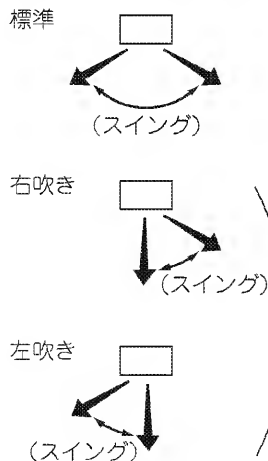
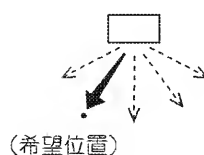
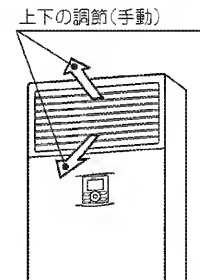
3

●「メニュー／確定」ボタンを押すと基本画面に戻ります。

風向設定のしかた

■上下の調節のしかた

吹出口の水平羽根は、上羽根・連動羽根(No.1およびNo.2グループ)および下羽根で構成されています。
手で上下に調節してください。冷風はやや上向き、温風はやや下向きにすると、効果的です。
また、No.1とNo.2のグループの羽根に分かれるため、上下の吹出しができます。
お部屋の中で、エアコンに近い場所の温度調節に効果的です。

各羽根の上下には、グループNoの刻印が印されています。

お願い
- **上羽根・下羽根と連動羽根が重なり吹出口が閉った状態で運転されますと、露が落ちる原因になります。**
  必ず、上羽根・下羽根・連動羽根で吹出口を閉めないようにしてください。
- **水平羽根を下に向け過ぎないでください。吹出口の風を吸込グリルから直接吸い込み、運転不良の原因になります。**

運転の内容と働き

風向調節には次の3とおりがあります。

左右風向スイング
機械が風向羽根を自動で変化させます。

左右風向固定
5段階に風向を固定することができます。

上下風向調節
手動により、上下方向のご希望の位置に風向を固定することができます。

お願い
- **上羽根・下羽根と連動羽根が重なった状態で運転されますと、露が落ちる原因になります。**
  必ず、上羽根・下羽根・連動羽根ともに同じ方向に向けてください。

風向範囲

コントロールパネルのメニューで「風向範囲切換」を行うと、上記風向の調節とさらに左右風向スイング・左右風向固定の風向範囲を設定できます。(設定方法については 18,19 ページ参照)

左右風向羽根の動きについて

- 下記の運転状態のときは自動で風向をコントロールするため、コントロールパネルの表示とは異なる場合があります。
  - 設定湿度より室温が高いとき(暖房運転の場合)
    (真中吹出しとなります。)
  - 暖房運転開始時、除霜運転時(暖房運転の場合)
    (真中吹出しとなります。)

節電運転のしかた

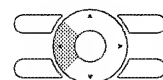
準　備

●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。

●シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

操作方法

1

●「節電」ボタンを押します。

2

●基本画面に 節　電 のアイコンが表示され、節電運転が有効になります。

※節電機能が機能しない組合わせの場合、『本機能はありません』と表示されます。

※従リモコンでは、『本リモコンでは操作できません』と表示されます。

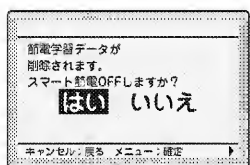
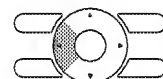
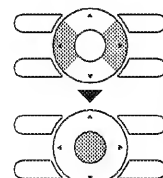
※スマート学習節電は、「冷房」と「暖房」のときのみ設定ができます。それ以外は、『冷暖以外スマート学習節電できません』が表示されます。

※節電設定を行う場合は、16 ページ以降をご覧ください。

3

● 節電中 のアイコンは、節電運転中に表示されます。

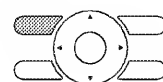
※節電運転中は「節電中」を表示します。

●もう1度「節電」ボタンを押すと、アイコンが消えて通常運転に戻ります。

●ただし、スマート学習節電に設定されている場合は、スマート節電学習データを削除するかの確認画面が表示されます。
削除する場合は「◀▶」ボタンで はい を選択して、
「メニュー／確定」ボタンを押して確定します。
基本画面に戻ります。

換気運転のしかた－エアコンと全熱交換器ユニットを連動させている場合

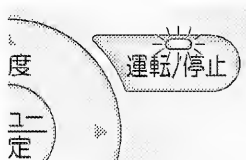
準　備
●機械保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源を入れてください。
●シーズン中は電源をしゃ断しないでください。始動を円滑にするためです。

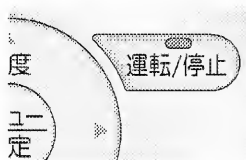
操作方法

1

●中間期などエアコンを使用せず全熱交換器ユニットを単独運転させる場合は「運転切換」ボタンで「換気」に切り換えてください。

2

●換気量・換気モードの変更、加湿換気の有効/無効を設定するときは、メインメニューから設定してください。
換気量　　：弱・強（34 ページ参照）
換気モード：自動換気・全熱換気・普通換気（35 ページ参照）
加湿換気　：有効・無効（35 ページ参照）

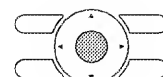
3

●「運転／停止」ボタンを押します。
運転ランプ（緑）が点灯し、運転を開始します。

4

●もう1度「運転／停止」ボタンを押すと、運転ランプが消灯し、運転を停止します。

キーロック

操作方法　設定・解除の操作は基本画面で行ってください。

1

●「メニュー／確定」ボタンを4秒以上押し続けます。

2

●「⊸」が表示されます。
キーロック中はすべてのボタン操作が無効になります。
●解除する場合は、再度「メニュー／確定」ボタンを4秒以上押し続けます。
（機能説明は 51 ページ参照）